

学会発表 日本在宅医療医療連合学会大会

- ◆泰川恵吾 ドクターゴン鎌倉診療所 理事長
「紛争時のBCPIについて」 座長
「加圧バッグを用いた落差不要輸液システムの使用経験」
- ◆久島和洋 ドクターゴン鎌倉診療所 在宅診療部長
「一般演題(ポスター)10」座長
- ◆浜本英昌 ドクターゴン鎌倉診療所 臨床工学技士
「停電時の在宅人工呼吸器をより効率良く長時間使用するための検討」
- ◆浜本英昌 ドクターゴン鎌倉診療所 臨床工学技士
日本在宅医療連合学会誌Vol6No2に掲載されました。
「在宅人工呼吸器への新たな給電方法の検討(第1報)～災害時の安全な長時間駆動を現するめに～」



右記QRコードからご覧いただけます



令和6年統計

★訪問患者数・・・664名 ★訪問診療回数・・・8652回 ★往診回数・・・122回★在宅看取り数(自宅)・・・131名

当院からのお知らせ



- 在宅診療の方はLINEで前日のお時間連絡などの事務的連絡を行っております。
ご希望の方はお問い合わせください。
- 保険証の負担割合が変わりましたらお知らせください。



診療科:外科・内科・訪問診療
担当医師については、当院ホームページにて
ご確認をお願いいたします。
<http://www.drgon.net/kamakura/>



〒248-0027 鎌倉市笛田4-25-2アスクレピオン鎌倉B-1
TEL 0467-32-5230 FAX 0467-33-3376
URL <http://www.drgon.net/kamakura/>



GON 第18号

事業所紹介

本郷台ホームクリニック



【右から2番目:名倉義人院長】



【診療所の外観】

当院は2022年5月に本郷台で開院し、外来での総合診療と在宅診療を2本柱としてやっております。

院長はもともとドクターゴンの泰川先生、曾我先生、今井先生と同門の東京女子医科大学救命センター出身であり、どんな患者さんも断ることなく内科、外科、整形外科、皮膚科、小児科と幅広い範囲で診療を行っています。もちろん専門医の診察が必要と思われる場合には近隣の湘南鎌倉総合病院や横浜栄共済病院などの総合病院と連携し紹介させていただくことが可能です。

ゆりかごから墓場まで最期まで自分らしくをモットーに、地域に根差した診療を行うことを目標として掲げております。何科を受診してよいかわからない、内科も皮膚科も何個もクリニックに通い続けるのが大変、という方は当院にご相談ください。

在宅訪問診療にも力を入れており、栄区、鎌倉市の患者さんを中心に診療を行っています。在宅診療では特に総合診療が必要とされますし、当院ではポータブルレントゲン、ポータブル超音波検査など在宅用医療機器も準備しておりますので、外来に来ていただくのと同様の水準で診療を行っていくことができます。

現在は院長1人の診療体制ですが、今後は他科の先生方にも手伝っていただきながらより総合的な診療を行っていきたいと思いますのでどうぞよろしくお願い致します。

窓口受付時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00~11:30	○	○	★	○	○	休	休
14:00~16:30※	×	×	★	○※	×	休	休

★火曜、水曜は予約制となっております。お電話ください。
※木曜日午後は16時までです。ご了承ください。

☎ 0467-32-5230 (代)

発行:医療法人鳥伝白川会 ドクターゴン鎌倉診療所

編集:事務 四電・敦川

訪問診療への道

ここですこし自分が経験した東日本大震災について触れたいと思います。

1978年に宮城県沖地震という大地震があり、そろそろまた大きな地震がくると、ずっといわれていました。2011年3月11日、激しい揺れを感じたのは病棟の回診中でした。ついに、きた！というのが実感でした。揺れはなかなかおさまらず、立っていることができないくらいでした。電気はおち、防火扉がバタバタと音をたてしめ、ナースステーションのパソコンが転がり、ずっと声をだしていた認知症の患者さんはすっかりだまってしまいました。しばらくして揺れが収まったあとは、すぐ緊急対策本部が設置され、救急車などで運ばれて来る方々を待ちましたが、しばらくはだれも来ません。この時はまだ津波が来ていることは院内にいる私たちはわかりませんでした。夜になって、びしょ濡れの人が運ばれてきたことで、大津波がきて町が大変なことになっていることを知ったのです。

高台にある病院でしたので、津波の被害はまぬがれましたが、近隣の家は浸水し、鉄道ももちろんストップ、普段通勤で使う国道は西部劇の映画にでも出てくるように荒廃し、信号もつかず、灯りはなく、真っ暗な道路わきのあちこちに、流された自動車がごろごろ転がっているような信じられない光景でした。

皆病院に泊まり込み、運ばれてくる人の診療にあたりました。全国から応援部隊がかけつけてくれてからは、各地に設置された避難所をまわったりしました。訪問診療を受けていた方で避難所に逃げられた方、自宅にいて浸水の被害をうけたけれど助かった方、入院患者さんの中には入院中に家がまるごと流されてしまった方もいました。

家族を亡くした方、仕事を失った方もたくさんいました。未曾有の事態に、皆が必死でした。食べるものがあり、住む場所があり、働く場所があるという、当たり前と思っていたことが決して当たり前ではないことを実感し、自然の脅威の前には人間は本当にちっぽけな存在だということを改めて思い知らされました。それでも、震災から14年の時を経て、復興を目の当たりにし、人間のしなやかな強さというものを感じます。

2011年以降も、あちこちで自然災害は起きていますが、どこに住んでいても災害は起こりうることを思い、起きた時に慌てないように十分に備えていきたいと思います。そして、あの震災時に、かわりかた風景を見て感じた、明日も同じとは限らないということ、そしていつもと変わらない日常が本当にありがたいという思いは、これからも決して忘れないようにと思っています。

医師 千葉晴子

日本内科学会 総合内科専門医
日本プライマリケア学会 認定医・指導医



オピオイドの説明会

3/31(月) アカラケア訪問看護ステーションとテレジア訪問看護ステーション 西鎌倉(オンライン)向けに当院緩和ケア認定看護師横井看護師が「オピオイドについて」勉強会を致しました。

オピオイドの基礎知識や副作用、当院で利用率の高いオピオイドの種類などを実際の患者さんの症例に基づき説明いたしました。

今後も医療機関と看護ステーションとの連絡が密に行えたらと考えております。ステーション向けに勉強会も行いますので、ぜひお問い合わせください。

看護師 横井千華
緩和ケア認定看護師



4月のJ:COMで放送されました

J:COM「お元気ですか」にて春の熱中症というテーマで、季節の変わり目にどのように注意して生活したら良いかわかりやすく解説しております。

暑さに慣れていないと熱中症になりやすくなります。体を動かし暑さに耐えられる体を作る『暑熱順化』が大切になってきます。

前編では熱中症になりやすい方の特徴や、後編では予防と対処法についてお話しております。まだまだ暑い日が続きます。YouTubeにバックナンバーがございますので是非ご覧ください。



右記QRコードからご覧いただけます。

前半



後半

